CLAIRトピックス ――最近のクレアの動きを短くまとめて紹介します

シンガポール事務所

Anime Festival Asia Indonesia 2026 に出展しました！

クレアシンガポール事務所は８月 15、16 日の両日、インドネシア・ジャカルタ近郊の ICE（インドネシア最大級の展示場・コンベンションセンター）で開催された「Anime Festival Asia（AFA）Indonesia 2026」に初めてブースを出展し、日本各地の魅力を発信しました。会場では、多くの来場者がブースを訪れました。自治体パンフレット約 1,600 部やノベルティーを配布するなどして各地域の魅力を紹介しました。また、イベントを通じて、公式 Instagram を約 1,300 人の方に新たにフォローいただきました。

AFA Indonesia 2026 は、日本文化・コンテンツを入口に、インドネシアの若者と日本をつなぐ大型交流イベントです、来場者の多くは、日頃から日本のアニメや漫画、ゲームなどのコンテンツに親しむ 20 ～ 30 代であり、日本への関心が非常に高い層です。2012 年にジャカルタで初開催され、今回で 10 回目の開催となります。来場者は、自分の好きな又は知っているアニメや漫画の舞台となっている自治体のパンフレットを見つけると、興味深くパンフレットを見て、職員に「この場所にはどのように行けばよいか」「聖地巡礼に興味がある」など熱心な様子が伺えました。

今回の出展を通じ、インドネシアにおける日本各地への関心の高さを実感しました。今後も関係機関と連携し、インドネシアをはじめとする所管地域に向けて、日本各地の多様な魅力を発信してまいります。


ブース来場者の様子


コスプレイヤーであふれる会場の様子

北京事務所

第２回世界人型ロボット運動会が開催されました

2026 年８月 22 日から５日間にわたり、北京市の国家スピードスケート館「アイスリボン」で、第２回世界人型ロボット運動会が開催されました。本大会は、北京市人民政府や中央広播電視総台（チャイナ・メディア・グループ）などが主催する人型ロボットによる国際的な競技会で、16 カ国から 666 チーム、2,056 台のロボットが参加しました。

大会では、競技部門 30 種目、実用部門 21 種目の計 51 種目が実施されました。競技部門では、陸上競技やダンス、卓球、綱引き、サッカーなどが行われ、実用部門では、梱包作業や接客など、実社会での活用を想定した種目が行われました。

陸上競技の 100 メートル走では優勝タイムが８秒 64 であり、昨年開催された第１回大会の最速記録が 21 秒台であったことからも、わずか１年間での急速な技術の進歩がうかがえます。日本からは１社が参加し、同社のロボットが 400 メートルと 1,500 メートルの２種目に出場しました。

会場には多くの来場者が訪れ、中国チームを応援する歓声が響くなど、スポーツ大会さながらの盛り上がりを見せていました。また、大会の様子は抖音（中国版 TikTok）でライブ中継されるなど、オンラインでも観戦できる機会が設けられていました。競技だけでなく、会場外で展示されていた調理を行うロボットも注目を集めていました。中国における人型ロボット技術の急速な発展と、今後の幅広い分野での活用が注目されます。


会場の様子


人型ロボットによるサッカーの様子

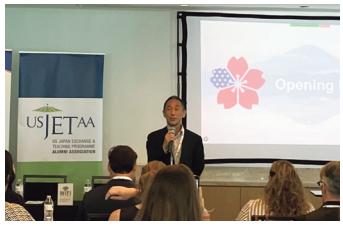
ニューヨーク事務所

JETAA アメリカ地域会議に参加―JET 経験を生かした日米交流の可能性

8月7日から9日まで、JETAA（元 JET 参加者の会）アメリカ地域会議（NatCon）がマイアミで開催されました。米国各地の JETAA 支部をはじめ、米国、カナダ、ジャマイカ、トリニダード・トバゴの各国代表者や JETAA インターナショナルの代表者らが参加し、JET 経験者のネットワークを生かした日米交流や、帰国後も日本とのつながりを維持・発展させる方策について意見交換が行われました。

会議では、米国で日本文化を発信する JOI や、日本語教育および日本文化への理解促進を図る J-LEAP との連携について議論されました。JETAA の地域ネットワークを生かし、学校や地域コミュニティーでの日本文化交流を広げる可能性が示されました。

また、JET 経験を帰国後のキャリアや地域活動につなげる取り組みや、JET プログラム 40 周年に向け、JET アラムナイ、現役 JET、地域コミュニティーの交流を促進する企画についても意見が交わされました。こうした取り組みを通じ、JET 経験者が地域社会における日米交流の担い手となり、長期的な日米関係の構築につながることが期待されます。



クレアニューヨーク事務所長開会あいさつ


NatCon 参加者集合写真

ロンドン事務所

地方自治体ら訪問レポート～「Sevenoaks Town Council」を訪問しました～

クレアロンドン事務所は、2026 年 7 月 24 日、英国の地方自治体らが取り組む施策や行政課題などを学び、日本の自治体行政に資する知見を得ることを目的に、「Sevenoaks Town Council（セブンオークス・タウンカウンシル）」を訪問しました。

セブンオークス･タウンカウンシルは、イングランド南東部ケント州にある、セブンオークス･ディストリクト内に設置された、地域に密着した行政サービスを担う法律上の準自治体です。クレアロンドン事務所職員は、区域内にある施設を訪問し、住民サービスや公共施設などの管理・運営の実態および特徴的な取り組みについて学びました。

庁舎では、関係する職員や議員と面会を行い、同カウンシルの概要と、環境施策や住民参加を活用したまちづくりについての説明を受けました。

カウンシルが地域団体やボランティアと役割を分担しながら公共サービスを提供する仕組みや、施設運営の方法について意見交換を行うことで、日本の自治体における地域との協働や施設運営の在り方を検討するうえで参考となる知見を得ることができました。


説明を受ける職員の様子


庁舎訪問時の集合写真

パリ事務所

欧州連合日本政府代表部ガーデンパーティーに出展しました

9月8日（火）、欧州連合日本政府代表部大使公邸にて、ガーデンパーティーが開催されました。本イベントには、欧州対外活動庁（EEAS）、欧州委員会、欧州理事会、欧州議会の関係者をはじめ、EU 加盟国常駐代表部や第三国代表部、企業、シンクタンク、メディア、文化関係者など、各方面から幅広い人々が招待されました。当日は時折雨が降ることもありましたが、会場は終始活気に満ちていました。

会場にはクレアパリ事務所のほか、日本政府観光局（JNTO）や日本企業がブースを出展し、インバウンド（訪日客）のプロモーション、日本食や日本酒の紹介などが行われました。クレアパリ事務所は、日本の地方自治体のパンフレットを配布し、地域ごとの特色や観光資源を紹介しました。来場者の中には、日本地図を見ながら過去の訪問経験を語る人や、次回の旅行先の検討用としてパンフレットを持ち帰る人も多く見られました。フランス語ではなく、英語での説明が中心となる国際色豊かなイベントでしたが、日本への関心の高さは変わらないことを実感する機会となりました。

クレアパリ事務所では、今後もこうした機会を通じて、日本の地方自治体の魅力を発信してまいります。



ブース対応の様子

ソウル事務所

インフルエンサーを活用して地方の魅力を発信！

クレアソウル事務所では、韓国人インフルエンサー、自治体と連携・協力し、日本の地域の魅力を SNS で発信する事業を実施しています。近年の韓国人観光客の日本の地方都市への需要の高まりを踏まえ、香川県、高知県の２県を取材しました。

香川県では、瀬戸内海に位置する「男木島」「女木島」「小豆島」や、国の特別名勝に指定されている高松市の「栗林公園」などを取材しました。さらに、島ならではの美しい景観やアート、豊かな自然など、香川県の多彩な観光資源を紹介しました。一方、高知県では、高知の食文化を代表する「ひろめ市場」や、四季折々の植物を楽しめる「高知県立牧野植物園」、太平洋を望む「桂浜」などを取材しました。さらに、“仁淀ブルー”で知られる「仁淀川」など、高知県ならではの豊かな食や自然を幅広く紹介しました。

今回の取材では、空港や韓国との直行便がない地域についても、近隣県と組み合わせた周遊ルートとして紹介することで、より幅広い地域への誘客につながる情報を発信しています。

取材動画については、クレアソウル事務所のホームページ（https://www.clair.or.kr/appeal/youtuber/youtuber_view.asp）から閲覧が可能です。これまで取材した地域も掲載しておりますので、是非ご覧ください。



「二十四の瞳映画村」での撮影の様子（香川県・小豆島）

シドニー事務所

ニュージーランド姉妹都市協会（GCNZ）2026年総会が開催されました！

９月３日から５日にかけて、ニュージーランド（NZ）・クライストチャーチにて、ニュージーランド姉妹都市協会（GCNZ）の 2026 年総会が開催され、多くの姉妹都市関係者が集い、基調講演やパネルディスカッションが行われました。

今回の総会では、「New Frontiers」をテーマに、従来からの交流地域に加え、インドや東南アジアなど成長著しい地域と連携を深める意義について、活発な議論が交わされました。また、AI などの最新のデジタル技術を活用し、知見や経験、住民サービスなどに関するデータを共有することで、各自治体の課題解決や住民サービスの向上につなげるという、自治体間の国際交流の新たな可能性についても認識が共有されました。従来からの親善を目的とした一対一の交流や対面による人的交流にとどまらない、より広域的・多層的な自治体間の国際連携を模索する様子がうかがわれました。

クレアシドニー事務所は、クレアの活動を紹介するとともに、モリス裕美 GCNZ 名誉会長をはじめとする NZ の姉妹都市関係者と交流し、ネットワークをより強固なものとしました。



パネルディスカッションの様子



GCNZ 役員（中央）や在ニュージーランド日本大使館職員（右から２人目）とクレアブース前で

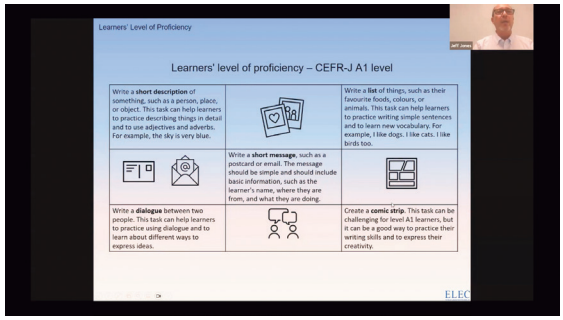
JET プログラム事業部

2026 年度外国語指導助手（ALT）ハイレベル研修を開催しました！

外国語指導助手（ALT）ハイレベル研修は、来日 2 年目以降の JET 参加者（ALT）と、ALT とともに英語授業を行う教員（JTE）を対象に、ティーム・ティーチングに関する知識・技術などの習得や指導力向上を目的として実施するオンライン研修です。本年度は前期・後期の 2 期に分け、計 4 日間の日程で実施しています。

研修では、小学校・中学校・高校などの校種別プログラムを設け、最新の教育理論や実践に基づく指導法を学ぶとともに、実際の授業で活用できる指導技術の習得を目指しています。参加者は、コミュニケーション活動や文法指導、評価方法などに関する演習に取り組み、実践的な学びを深めました。また、グループワークなどを通じて、一緒に課題に取り組むだけでなく、全国の参加者同士が経験や工夫を共有し、相互に学び合う貴重な機会となりました。

12 月には後期研修を予定しており、さらなる知識や指導力の向上につながる研修となるよう取り組んで参ります。



受講中の様子

交流支援部

プロモーションアドバイザー派遣事例のご紹介

経済交流課では、自治体の海外プロモーション（地域産品の海外販路開拓・インバウンド（訪日客）誘致促進など）を支援するため、専門的知見、ノウハウ、経験を持つプロモーションアドバイザー（PA）の派遣を行っています。

①広島県（派遣 PA：ビンテージマネジメント(株)　代表取締役　安田 哲 氏）
県内食品企業の海外展開促進に向けた支援策について、既存施策のより効果的な実施手法や新規施策の立案に関する具体的手法の助言

②沖縄県（派遣 PA：和テンション(株)　代表取締役　鈴木 康子 氏）
那覇空港と就航地間の相互誘客に係るプロモーションについて、SNS やメディアを活用した効果的な手法について、オンライン形式での助言

③兵庫県（派遣 PA：(株) フォーバル　小綿 寛則 氏）
県内地場産業の海外展開に向けた支援策について、実際の産品を見たうえで、海外向けの売込み方や具体的手法などを含めた助言



派遣先自治体からは「今後の方向性が具体的にイメージできた」、「実際に海外展開を経験した PA からの意見はとても貴重だった」などのお声をいただきました。海外プロモーションにご関心のある自治体におかれましては、ぜひ経済交流課までご連絡ください！（https://economy.clair.or.jp/activity/dispatch/）

姉妹（友好）都市提携希望情報のご紹介！

クレアでは、姉妹（友好）都市提携を希望している自治体の情報をホームページにて紹介しています。新たな姉妹（友好）都市の提携をご検討される際に、ぜひご覧ください。

今回は、スリランカの自治体をご紹介します。

〇カータンクディー市（スリランカ）

スリランカ東部州バッティカロア県の東海岸に位置する活気ある町です。市域面積は約 2.56km^2、人口は約 4 万 7,603 人で、国内でも有数の高人口密度地域として知られています。同市は、スマートシティ運営、廃棄物管理、環境保護、人口密集都市におけるグリーンシティ施策などの先進的な分野から、文化・教育分野まで、幅広い交流を希望しています。カータンクディー市の詳しい情報は、クレアホームページに掲載していますので、ぜひご覧ください。

また、クレアでは海外自治体向けに日本の自治体情報も掲載しています。掲載を希望される場合、交流親善課（Tel：03-5213-1723、E-mail：shimai@clair.or.jp）までお問い合わせください。



カータンクディー市の様子

自治体紹介ページ→

多文化共生部

2025 年度多文化共生事業事例集をホームページ上に公開しました！

多文化共生課では、多文化共生のまちづくりを促進する助成事業を実施し、地域の国際化や多文化共生の推進を支援しています。この度、この助成事業の成果を広く紹介し、他団体の参考としてもらえるよう、多文化共生事業事例集を作成しました。今回は、2025 年度に実施された事業の中から 11 事業を紹介しています。

本事例集には、各団体が工夫した内容や担当者の所感が記載されており、団体ごとの特色が反映されています。先進的な事業だけでなく、各地域で共通する課題に取り組んだ事業も多いため、全国の自治体や地域国際化協会にとって参考になるものと思われます。

本事例集は多文化共生ツールライブラリーでも公開されており、キーワード検索を使って過去の事例も簡単に検索できます。地域における多文化共生の推進にぜひご活用ください。

また、毎年 7 月から 9 月にかけて翌年度事業の公募を実施しています。2028 年度事業の公募は 2027 年夏頃を予定しています。引き続き、多くの団体の積極的な活用をお待ちしています。

（多文化共生事業事例集）
二次元コード

（多文化共生ツールライブラリー）
二次元コード

（多文化共生のまちづくり促進事業）
二次元コード